

# 令和4年度宮城高等歯科衛生士学院学校関係者評価概要報告

## I 学校運営方針

宮城高等歯科衛生士学院の教育理念である、高度な専門能力・自ら課題を創造する・思いやりと社会性を持ったヘルスプロモーションの担い手として医療機関・施設・行政において、必要とされる各業務に適応できる人材を育成する。全国初の3年制を導入して21年を迎え、当初の目標を達することができた。今後さらに充実させ、新たな改革と発展を目指し、教職員の意識改革・自己研鑽に努める。加えて、高度な視点から多様化した歯科保健医療を捉えた質の高い歯科衛生士として国民の新たなニーズに応えてまいります。

## II 重点目標

- (1) 基本的な医学知識を備えた行動
- (2) 生涯研修と自己啓発の意識
- (3) 歯科衛生ケアプロセスの実践
- (4) 対人サービスと社会性、コミュニケーション
- (5) 研究活動の奨励、海外研修制度

## III 学校関係者評価委員会の概要

<第1回>

- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| (1) 日時  | 令和4年7月27日(水) 午後6時～7時    |
| (2) 場所  | 宮城県歯科医師会館 4階 会議室        |
| (3) 出席者 | 学校関係者評価委員<順不同>・・・5名     |
|         | 児玉弘子 (臨地・臨床実習協力施設代表) 欠席 |
|         | 江草宏 (連携校・実習協力校代表)       |
|         | 人見早苗 (業界代表)             |
|         | 瀬戸克而 (地域住民代表)           |
|         | 堀込ゆかり (卒業生代表)           |
|         | 本学院                     |
|         | 吉田直人 (学院長)              |
|         | 上原忍 (副学院長)              |
|         | 枝松淳二 (副学院長)             |
|         | 角田哲 (教務部長)              |

庄 司 伸 樹 (副教務部長)  
三 浦 啓 伸 (副教務部長)  
佐 藤 陽 子 (教務主任)  
阿 部 寿 郎 (事務長)

(4) 内 容

- ① 委嘱状交付
- ② 委員長選出 江 草 宏 委員
- ③ 報告
  - ア 令和3年度「学校評価」事業の経過について
  - イ 令和4年度の主な学校行事について
  - ウ 学院の概要について
- ④ 協議
  - ア 令和3年度の自己点検評価に関する集計結果について
  - イ 令和4年度「学校評価」事業日程(案)について

(5) 主な質疑応答

- 委 員：自己評価は教職員だけのようだが、評価の中には学生によるものは含まれていないのか。学生の評価は非常に参考になるものも多いと思うがどうか。
- 学 院：学生の評価は含まれていない。それも含めて今後考えていきたい。
- 委 員：昨年国家試験不合格者がいたようだが、これまでは翌年受験なども含めてどのような現状か。また学院としてどんな対応をしてきたのか
- 学 院：不合格者には翌年受験を勧めている。卒業生なので拘束力がないが、希望者には学内に自己学習のスペースを確保、授業の受講、学内模試の受験、後期の勉強会の参加等、費用を取らないで参加させている。学院入学生を国家試験に合格させて優秀な歯科衛生士を育てるのが学院の使命と考えているためである。留年学生にも学費などの配慮をしている。
- 委 員：不合格学生、留年学生への配慮がなされており、魅力的に感じられる。
- 委 員：就職先から奨学金をもらうような制度はないのか。
- 学 院：一部病院等ではあるようだが学院としては率先してすることではないと考える。入学した時点から就職先を決めるようなマッチングが難しい。就職や資格を取るだけの学校になりかねないと危惧する。それは会立の学校として良いとは考えていない。但し、学修支援として入学しやすいよう入学金の免除等の支援は備えており好評を得ている。
- 委 員：他県では祭りに参加するなど地域に貢献して話題になっている話を

伺っている。社会貢献、地域貢献について、学院を広める意味で方策は必要ないか。学院での現状を伺いたい。

学 院：学生は、仙台市、仙台医師会と共同で市民のつどいに参加している。しかしながらコロナの影響で現在は停止しているが WEB では参加している。

委 員：今後は、業界外の社会貢献、地域貢献も必要になってくるのかなと思っている。

委 員：近くの病院で市民大学を作っている例もある。学院で可能かどうかはわからないがそんな考えもあると思う

学 院：業界外の社会貢献、地域貢献も含めて今後の参考として考えていきたい。